

施策番号	0804		
施策名	伝統産業の活性化と新たな展開の推進		
概要	京都の基盤産業である伝統産業の活性化を図るため、事業者等による新たな販路開拓の取組に対する支援事業、普及啓発、技術の継承や後継者の育成などの施策を積極的に展開する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市伝統産業活性化推進計画		

施策の評価

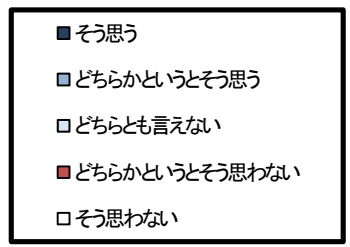
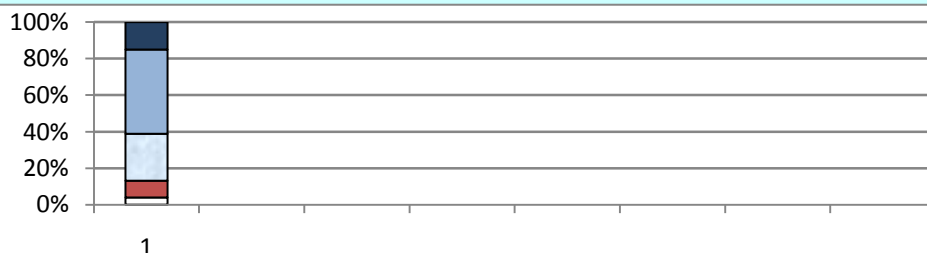
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 伝統産業製品の出荷額(億円)	-	a	2,752	2,477	2,730	90.7%	a	1.00
2 伝統産業に接したことがある市民の割合(%)	-	a	200.5	186.6	220	84.8%	a	1.00
3 「伝統産業の日」事業の来場者数(人)	-	d	220,650	246,241	300,000	82.1%	c	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 京都の特色を生かした産業活動が行われている。	80	246	137	49	21	533	b	
	15.0%	46.2%	25.7%	9.2%	3.9%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					23年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 伝統産業の活性化施策の実績は、伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合などの客観的数値に表れるものであり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価については、「伝統産業の日」事業が10周年を迎え、多彩な催しを実施するとともに効果的なPRにも努めた結果、来場者数が増加しa評価となった。 ・市民生活実感評価は昨年度同様b評価となり、やや良い状況を維持している。 ・このため、総合評価はA評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	販路開拓, 産地商品宣伝	49,091	55,426	良い	産業観光局
2	「わたしたちの伝統産業」の制作 <small>(きもの文化教育副読本)</small>	1,821	2,346	良い	産業観光局
3	ファッション推進	4,786	4,896	かなり良い	産業観光局
4	後継者育成事業	10,109	10,769	かなり良い	産業観光局
5	技術功労者顕彰制度	15,416	15,750	かなり良い	産業観光局
6	京都伝統産業ふれあい館運営	32,676	33,179	良い	産業観光局
7	「伝統産業の日」関連事業	37,187	30,690	良い	産業観光局
8	京の「匠」ふれあい事業	21,514	21,871	かなり良い	産業観光局
9	京もの活用事業	7,379	4,149	普通	産業観光局
10	京ものきらめきチャレンジ事業	12,072	14,892	かなり良い	産業観光局
11	伝統産業道具類等確保事業	2,356	2,356	かなり良い	産業観光局
12	京もの全国普及事業	22,585	-	良い	産業観光局
13	京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度	7,351	8,390	かなり良い	産業観光局
14	京もの海外市場開拓事業	-	13,984	-	産業観光局
15	京もの国内市場開拓事業	-	13,984	-	産業観光局
16	「京都館」運営	121,947	126,001	普通	産業観光局
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・客観指標である伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合の達成度は、いずれも80%台であり、「伝統産業の日」事業の来場者数も目標値を達成できていないため、今後とも伝統産業に関する取組の支援や情報発信、「伝統産業の日」事業の充実を進めていく。
 ・また今後は、平成24年3月に策定した第2期京都市伝統産業活性化推進計画に基づき、伝統産業の活性化を図る。

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進
-----	------	-------------------

指標名	伝統産業製品の出荷額（億円）
-----	----------------

担当課	伝統産業課	連絡先	222-3337
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市指定の伝統産業製品を対象とした出荷額

2 指標の意味

伝統産業の活性化の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：業界アンケート調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	2,752	2,477	275億円減	2,730	平成18年度現況値（2,703億円）の1%増（京都市伝統産業活性化推進計画）	90.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	・集計時期の関係上、最新数値は22年度数値となる。また、最新数値の公表時に過年度数値を遡って修正することがある。 ・平成23年度に「第2期京都市伝統産業活性化推進計画」を策定し、新たな数値目標を「減少率の縮小」としたため、26年度から目標値を変更する。
----	---

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要し、景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

	23	24
-	a	a

指標名	伝統産業に接したことがある市民の割合（%）
-----	-----------------------

担当課	伝統産業課	連絡先	222-3337
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

市政総合アンケートの「どのような場面で伝統産業に接したことがあるか」という設問に対する回答の割合（「接したことがない」という回答以外の合計）

2 指標の意味

伝統産業の普及状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：市政総合アンケート

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	200.5	186.6	13.9ポイント減	220	京都市伝統産業活性化推進計画	84.8%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

備考	・平成23年度に「第2期京都市伝統産業活性化推進計画」を策定し、新たな数値目標を「伝統産業製品を使用する市民の割合の増加」としたため、次回、市政総合アンケートを実施した際は指標を変更する。
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要し、景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

	23	24
-	a	a

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進									
指標名	「伝統産業の日」事業の来場者数（人）										
担当課	伝統産業課	連絡先	2 2 2 - 3 3 3 7								
1 指標の説明											
「伝統産業の日」関連事業すべての来場者数の合計											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
「伝統産業の日」事業の取組状況を示す指標			出典：「伝統産業の日2012」事業実績								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度					
数値	220,650	246,241	25,591人増	300,000	京都市伝統産業活性化推進計画	82.1%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		目標達成には相当の努力を要するものの、目標を上回することは不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>d</td> <td>c</td> </tr> </table>			23	24	-	d	c
	23	24									
-	d	c									